



Applicable requirements:
Standard(s) for Electric Vacuum
Cleaning Machines and Blower
Cleaners (UL-1017)

Characteristics



ULPA Included



High Efficiency



Cleanroom
Applications



Pharma
Applications



Static
Dissipating



Resistivity: Less
than 10 ohms



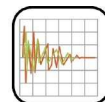
Dry Recovery



Stainless Steel
AISI 304



Static
Dissipating
Toolkit



EMI Shielded



- ULPA フィルター (0.12 ミクロン粒子を 99.999%捕集: IEST RP-CC001.3. 検査済み)、(0.18 ミクロン粒子を 99.9995%捕集: IEST RP-CC001.3. U15 by MPPS method as per EN 1822 検査済み)
- ISO クラス4 (従来のクラス 10) に基づくクリーンルーム対応。製薬現場でも使用可能。
- 静電気防止型、ESD 対策品、EMI/RFI シールド
- 4 段階フィルターシステム (ULPA フィルター-U15、布フィルター、ドームフィルター、使い捨てフィルターバッグ)
- 壊れたウェイファーや鋭利なものを回収できるステンレス製特殊フィルター (オプション)
- 汚染管理環境における一般的な清掃用
- 単相スルーフローモーター
- 乾式専用
- 総ステンレス製
- 使い捨てフィルターバッグに5.7リットルの回収容量
- ゴルフカート式で機動性が良い
- ツールキット込み

総ステンレススチール構造。モーターの下流部に ULPA フィルター (U15) を搭載。また、EMI/RFI シールドしており、室内のコンピューターや電子機器に影響を与えません。静電気防止、ESD 対策品です。掃除機を稼働している間、発生したわずかな静電気もすばやく効果的にアースに放電されます。この機種はクリーンルーム対応で、製薬現場でもご使用になれます。汚染管理環境における一般的な清掃用にデザインされています。これは乾式専用です。他の機種同様、出荷前に 1 台 1 台エアゾール漏れの検査をしています。

機械仕様		
型式		MV-1 CR (GC)
パーツNo.		T 110739A
紙パック容量	L	5.7
吸引力	kPa	13.0
エアフロー	m ³ /min	2.6
供給電源	V	単相 AC100V
モーターパワー	HP	0.7
電流	A	5.4
消費電力	W	540
外形	cm	H91×W19×L19
重量	kg	7

ULPA フィルター (Ultra Low Penetration Air Filter 超高性能フィルター) はエアフィルターの種類で、ほこり、花粉、かび、バクテリア、その他 0.12 ミクロン以上の粒子を 99.999% 捕集します。

EMI (電磁障害) 抑制、RFI (受信障害) シールド

このクリーンルーム用掃除機は、放射されたり通電されたりした EMI を減らす電子フィルターサプレッサー(抑制機)を取り付けています。FCC (米国連邦通信委員会) や ISO (国際標準化機構) により規定されたクラス B の基準を下回っています。これはまた RFI (受信障害) もシールドします。電子フィルターがモーターに沿って配線されています。

静電気防止型システム (ESD 対策品)

この掃除機は使用中接地するようにデザインされています。掃除機を使用している間に発生するどんな静電気も、導電性ホース、掃除機を通してアースに逃がします。ご使用前にアースとの導通を確認できるテスターが標準で付属しています。ESD 対策型掃除機は静電気と蓄電気を除去し、繊細な電子機器を守ります。

ツールとアクセサリ(標準付属品)		
パーツNo.	数量	仕様
T212070	1	静電防止バキュームホース 1.5m
T323316	1	マイクロツールキット 径 32φ 静電防止プラスチック
T323312A	1	丸型ブラシ 径 32φ 静電防止プラスチック
T323321	1	ゴム丸型ノズル 径 32φ 静電防止プラスチック
T323314A	1	家具用ノズル 径 32φ 静電防止プラスチック
T323313A	1	隙間ノズル 径 32φ 静電防止プラスチック
T212080	1	US プラグ付電源コード 10m
T211065	1	接地テスター

ご注意：この掃除機を爆発性のほこりや揮発性の液体の回収には使用しないで下さい。